

多様な連携や新たな事

～特集・日本の水道の持続的発展へ

使つての「アセットマネジメント」は、今後必要な施設整備（タイプ1〜4）と財源見通し（タイプA）を促していきたく考えた。各県主催の研修会で同

なお、今後予定されている研修会の開催日は次の通り。
 △大分県 9月2日▽茨城 9月20日▽千葉県 10月1日▽佐賀県 10月7日▽山梨県 10月11日▽神奈川県調整中▽愛知県（調整中）。

続けて「当町のような中小規模施設が多く点在する事業体では、今後、これらの更新時期を迎え、事業経営を圧迫することになります。上水道事業と簡易水道事業を統合しても、施設の維持管理はこれまでと同様に不可欠です。将来にわたり、安心・安全な水を安定的に供給していくためには、簡易水道事業の補助制度を堅持し

兵庫県香美町

取材レポート



岸本課長

所 簡易水道事業など24カ所、北部の香住区は伏流水、南部の村岡・小代区は河川表流水を主な水源としている。下水道事業は公共下水道などで21処理区、合併浄化槽で4地区を処理している。

「当町は平成20年度に水道、下水道の各担当部署を組織統合し、上下水道課で運営しています。今年度から簡易水道事業と下水道事業に、地方公営企業法を全部適用する一方、旧町ごとに異なる

遠隔監視で効率的な管理

一元管理へ携帯端末など活用

「参考になった」と答へ、冒頭のようにアセットマネジメントの実施に前向きな声も多く寄せら

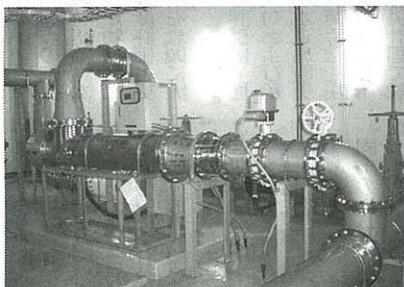
「参考になった」と答へ、冒頭のようにアセットマネジメントの実施に前向きな声も多く寄せら

「森浄水場は、8700立方メートルの処理能力を有し、クリプトスボリジウム対策などを図るため、紫外線照射装置を備えています。同浄水場内に上下水道課の事務所も移転し、昨年11月から供

「今後の目標・課題などについて、岸本課長は、水道施設の数多くは昭和50年代に整備されたもので、いすれ更新の時代を迎えることとなります。今後はアセットマネジメントなどによって、検討を進めることが必要です。また、当町では、し尿と汚水を共同処理する「汚水処理施設共同整備事業（M-TCS）」を検討している。一方、当町など1市2町で構成する北但行政事務組合で、ごみ処理と合わせて下水汚泥の共同処理が計画されており、これへの対応も行ってい



上下水道課の事務所がある森浄水場



紫外線照射で8,700m³/日を処理

用開始しています」（岸本課長）
 本課長は「移動時間も長くかかり、積雪時などには点検そのものが困難になることもあり、職員削減などで水道関係職員が少な

「一元管理へ携帯端末など活用」
 状況がいつまでも、どこでも、容易に把握でき、併せて今後のコスト面での有利性にもつながるとしている。「自宅や移動中でも、施設の運転状況が確認できるので、緊急時に管理委託業者と連携し、共通画面で迅速な対応が期待できます」（岸本課長）

エナテクス
 ひろがる ひとの和 エナテクス
 人と社会、社会と自然、自然とエネルギー。みんなつながれば、明るい未来、いいね！

◎ ENATEXとは？

- 遠隔監視事業 遠隔システムで安心安全
- 情報伝達事業 情報はハイブリッドで提供
- 太陽光発電事業 メガソーラー・小規模発電用

エナテクスグループ
 (株) エナテクス 住所: (本店) 〒682-0016 鳥取県倉吉市海田西町 2-37
 (株) エナテクスサービス TEL: 0858-28-1111 FAX: 0858-26-3989
 (株) エナテクスソーラー http://www.enatec.co.jp



施設の運転状況を容易に把握